

FOLFOXIRI + Bev

〈対象疾患〉切除不能・進行再発大腸癌

治療内容(1クール期間: 14日・総クール数: 回)

	薬品名	1日投与量	手技	投与ルート	投与時間 ・速度	投与日 1...3.....14
①	ポート用生食注シリンジ	20ml	逆血確認用	主管		day1
②	生理食塩水	50ml	ルート キープ・ フラッシュ 用	主管		day 1
③	パロノセトロン(0.75mg) デキサート(6.6mg) アロカリス(235mg) 生理食塩水	1V 1.5V 1V 100ml	点滴静注	側管	30分	day 1
④	生理食塩水 ベバシズマブBS	100ml 5mg/kg	点滴静注	側管	初回90分 (2回目60分, 以降30分ま で短縮可)	day 1
⑤	生理食塩水	20ml	静注	側管	②の生食 を使用	day 1
⑥	5%ブドウ糖 イリノテカン	250ml 150mg/m ²	点滴静注	側管	1時間	day 1
⑦	5%ブドウ糖 レボホリナート	250ml 200mg/m ²	点滴静注	主管	2時間	day 1
⑧	5%ブドウ糖 オキサリプラチン	250ml 85mg/m ²	点滴静注	側管 (⑦と同時に に)	2時間	day 1
⑨	生理食塩水 5FU	全量で140ml 3000mg/m ²	インフュージョン	主管	46時間	day 1- 3
⑩	ポート用生食注シリンジ	20ml	静注	主管		day 3

〈備考〉

内服

デカドロン錠 Day2～4 8mg/日 朝・昼食後

オランザピン錠 Day1～4 5mg/日 夕食後

※オランザピンは糖尿病及び糖尿病既往歴のある患者は禁忌になります。高齢者(75歳以上)は注意になりますので、症例に応じて適宜処方検討してください。

高度催吐性

2週を1クールとして繰り返す インフュージョンポンプ使用